

日本大学経済学部産業経営研究所 公開研究会

第318回

講演テーマ

「労使関係に影響を与える環境の諸相 : 人的資本経営の危うさ」

谷内 篤博 氏

実践女子大学 名誉教授

日時: 2024年12月6日(金) 18:00~19:30

会場: 3号館3082教室

■推薦者の言葉■

谷内篤博氏は企業での活躍の後に学术界に転身し、文京女子大学(現・文京学院大学)経営学部教授、実践女子大学人間社会学部教授などを歴任し、人的資源管理論(HRマネジメント)の領域を専門として活躍されている。

ひとまず谷内氏が日経産業新聞内にて連載していた「HRマネジメントを考える」の一文を紹介したい。同新聞の記事内では「人材マネジメントをめぐっては、これまでのメンバーシップ型雇用からジョブ型雇用への移行、人的資本経営の本格的展開など、活発な議論を呼び起こしている」と説明し、変化するHRマネジメントについて三つの視点から今後の展望について概観している。一つ目は個人の仕事観、組織観の視点、二つ目はキャリア形成の視点、三つ目は企業の持続的成長をもたらす視点である。これらは働き方改革後のこれからの展望を示す重要な指摘となっている。今回は長年の研究から導かれた日本の雇用環境に関する課題に関して講演して頂く。

本講演では谷内氏のこれまでの経験や研究を踏まえた変化する日本経済において注目の集まる人的資本経営への提言および、そうした中で変貌する雇用環境に関して重要な論点を指摘して頂くことになっている。講演テーマは「労使関係に影響を与える環境の諸相: 人的資本経営の危うさ」となっており、メンバーシップ型からジョブ型へ移行する際の課題や人的資本経営の議論に潜む躓きの石への提言などが期待される。様々な立場の人が各人の課題として受け止められる貴重な内容となっており、ぜひ聴講してもらいたい。

(経済学部准教授 高橋 哲也)

主催: 日本大学経済学部 産業経営研究所 問合せ: 日本大学経済学部 研究事務課 Tel: 03-3219-3309